

平成23年3月8日

「この人に聞く」成熟社会と建築

有限会社シリウスライティングオフィス
代表取締役 戸恒 浩人



■ ライティングデザイナーをどのようなきっかけでなろうと思われたのですか。

もともと照明デザイン、ライティングデザインという仕事があることを全然知りませんでした。ただ、星の観察など夜空を見るのが好きで、また、昔から身近にいた材木屋さん、床屋さんといった職人さんに憧れていました。技術があつて、何で飯を食っているのかが分かりやすい人がすごく好きだったんです。それで、一応理系に行き、専門を選ぶときに、社会との接点がすごくある仕事に興味があつたんですね。たまたまその時期に自宅を新築することがあつて、建築士の方の仕事を目にして、建築ってそういう意味では社会への関わり方としてはすごく楽しそうに思えて、それで建築に進むことにしました。

そして、建築を勉強していくうち、建築全体というより、専門分野の方に興味を持つようになり、そのときに見つけた照明の本を通して面出薫さんの建築照明の仕事を知りました。そこで大学の先生に紹介いただき、面出さんの事務所でアルバイトとして入り、実際プロがどういう仕事をやっているのかを具体的に見て、これをやってみたいと決心して、そのまま事務所に入れていただくことになりました。事務所では、何万枚ものカラーライドの整理を任されて、世界のいろんな国の夜景の写真とかプロジェクト写真を見ることができたことにも強い影響を受けていると思います。

■東京スカイツリーのライティングイメージを「粋」と「雅」とされた発想はどこから生まれたのですか。

僕の場合、アイデアが方程式を解くように出てきたということはないです。これまでの経験、かつて眼にしたイメージが一瞬に集まって、凝集してできたという感じです。もちろん「粋」とか「雅」とかいうキーワードはぼろぼろと、そのほかの言葉と一緒に出てきていましたが、最後にカシャッと結晶化する瞬間というのは、多分言葉だけではなく、物語がなければダメで、やはり現実に見えるイメージも同時に考えていく。最終的には採用されなかったアイデアやたくさんの言葉と一緒に浮いている中からチョイスしていき、今回の目的に対して、この組合せですごいものができるという感覚ですね。

ただ、タワーのライティングは、今回が初めてです。もちろん、エッフェル塔を見たことはあるし、東京タワーもしょっちゅう見えています。それでもそこから真似ようとか考えてなくて、ただ、自分の人生経験の中で、あれだけのものが下町に建つというのは、東京

育ちの自分が持っている東京観と照らし合わせながら、こういうのがあったら素敵だな、すごく格好いいなど、本当に市民が思うのと同じレベルで考えていました。また、プロの目としても、世界にも例がないからすごく特徴的かつ、個性的に見えるし、という感覚ですね。現在は技術があるので、実現できる方法を提示できたわけです。

それに、いかにも舞台の女優さんを照らしているみたいな、そういう見え方になるのは避けようと思いました。ホタルじゃないですけども、何か光が勝手に、自分からふうっと光ってそこにいる、さりげなくふわっと浮かんでいる、何かそういうあり方の情緒が欲しいんです。それも方法としては照らしていますが、実際に見ると、照らされているというよりも、夜になるとふうっとそこに浮かんでいる、そういう風情に見える雰囲気をも自分の中で求めています。

そして、やはり長くずっと残ってほしい。20年後になったら古臭く見えるから変えましょうというデザインにしたくなかった。だから、見せ方も、例えばパッと当ててスッときれいに消えていくような光の風景なら最低100年ぐらいは通じるだろうと。そういう情緒だと思ったので、できるだけそういう情緒だけでできているものにしたいと考えました。

■ライティングデザイナーとしてのこれからの展望をお聞かせ下さい。

大きな仕事をしたいというのが潜在的にあります。どうありたいかという感じで言えば、僕は今香港を含めて世界の仕事を少しやり始めていて、日本だけで仕事を終わらせることがすごくもったいないと感じています。日本は日本で素敵な文化があって、そこで育んできたすばらしい技術もあります。そして、それって世界でも通じるものだと実感しています。何か僕らの仕事って別に日本だけで終わる必要はなくて、必要とされる場所に出向いていけばいい。僕らデザイナーというのはボーダレスで活動ができる仕事なので、むしろ世界中から選ばれるデザイナーになりたいと考えています。

また、世界の仕事をしながら、自分がやりたいことを通訳を通すと、何か情緒が取れてしまう。日本人に使うプレゼンテーションテクニックを駆使できないというのがあって、それが歯がゆいときがある。そして、それを乗り越えるために、自分の言葉で伝えるようにしていきたいと強く考えるようになりました。

あとはスカイツリー完成後、東京という町全体を使ったイベントが出てくるといいなと思っています。それはもう僕の範疇を超えている話ですが、いろんな人がアイデアを出し合って盛り上げてほしいなと思っています。

また、夜になるとみんながすてきなカフェテリアとかで食事して家に帰るといった、夜を少しだけ楽しんで帰るといったワンアクションができるようになるといいですね。それに、みんなが早く帰ってくれないと、僕らの仕事が終わらないですから（笑）。